

平成 30 年度 事業 報告 書

(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人 手をつなごう

1 事業実施の成果

① いきいきトレーニングセンター

高齢者が介護予防のためのトレーニングを実施しながら地域との交流を図るための場所を設置している。心身の健康づくりを目的として高齢者の引きこもりを防止し、社会とのつながりを持ち、情報交換しやすい環境をつくっている。

会員数も増えているが、会員のクチコミや誘いがきっかけで利用を始める人が多い。

夏場の暑さ対策でグリーンカーテンを作成した。利用者自ら水やりを行い、植物を育てることに関して情報提供や助言を得た。農業が盛んな地域であるため地域特性を生かし、運動をするだけでなく育てる人、助言する人、愛でる人それぞれ自然と役割を持つことができた。例年 8 月は利用者が少ないが、今年度は過去最高の利用者数でありグリーンカーテンが利用や交流のきっかけとなったと言える。

新しいマシンや機器を導入したことで利用者の年齢層も広がり、今まで以上に世代間交流も盛んとなっている。

② 「地域といっしょに。あなたのために。」必要とされる「参加」の場と人づくり：ラウンジ事業

「生きがいつくり」「趣味活動の場」「仲間作り」「講師やボランティアを担うことで、人から必要とされる環境作り」を目的として企画・運営サポートを実施。

30 年度に開催した教室は 21 種類。昨年度よりも 6 種類増加となり、教室内容が多様となってきた。講師都合で開催終了となった教室が 2 教室あったものの、新規開催が 9 教室増加。延べ参加者数も昨年度の 1.3 倍に増加した。30 年度はラウンジ活動初の毎週開催の教室として、だれもが気軽に参加ができおしゃべりを楽しめる会“だれでもお茶会”を新設。高齢者の外出機会の獲得を目的としている。定期的に集まることで顔なじみの関係ができ「友達が出来た」と喜ぶ参加者の声があった。新たな仲間の輪ができ、広がりを見せ始めている。

③ 「地域といっしょに。あなたのために。」必要とされる「参加」の場と人づくり：みんなの農業事業

「みんなの畑」と称した畑では、地域住民や子供達、高齢者や認知症、障がいのある方、施設入居者などが畑での作業を通じ、世代間交流や生きがい・役割づくりを行った。

④ 利根沼田医療福祉勉強会事業

利根沼田地域での胃瘻など在宅医療の知識の底上げや病院間のシームレスな連携、胃瘻連携パスの円滑な運用を目指し、勉強会の開催や会議を行ってきた。今後も日常業務やケアの一助としていただけるような勉強会を企画していく。引き続き、地域の医師が共同してリーダーとなり、多職種が一同に会して学び、情報交換を行うことで地域医療・ケア水準のボトムアップを図っていく。

⑤ 木漏れ日の会事業

昨年、障害者・高齢者を含む誰もがいきいきと安心して暮らせるためのひと・まちづくり(地域包括支援体制づくり)事業として 2 点の事業を掲げ丸紅基金社会福祉助成金を受け、木漏れ日

の会として障害者や高齢者・子育て支援を目的とし利根沼田のフォーマル・インフォーマルサービスを掲載した『とね、ぬまたお助け便利帖』を 3,000 冊作成した。冊子は関係機関に配布するとともに障害者・高齢者・子どもを担当する行政の窓口を設置され、希望する住民に配布している。また冊子に掲載された情報はNPO法人手をつなごうのホームページからダウンロードできるようになっており、新しい情報を掲載し更新している。

⑥ いきいき工房みんなの家事業

地域の方々の交流の場、学びの場、遊びの場を目的に教室活動を実施。教室・サークル活動では5つの団体が前年に引き続き定期開催を図れた。市の広報の他、地区回覧板や地域のタウン誌に教室開催を掲載したことで、利用者数は前年の1.7倍で今年度も増加傾向となった。

自主活動の場としての部屋貸し出し（無料）については、昨年からの利用の4団体が定期利用を継続したが、今年度新規の定期利用団体はなく、新規単発利用団体は4団体のみであった。

上毛新聞愛の募金の助成金を受けられたことから、30年度は地域の方や認知症をもつ方や子供を含む、交流イベントを5回実施できた。各開催につき平均50名程度の参加があり、活動時の役割や世代間交流を図ることができた。

⑦ びあ友の会事業

障がいを持つ子供の親御さんの交流の場として月に1~2回程度開催することができた。障がい児の親御さんは悩みが多く、又、周りのお子様と比較してしまう傾向にあり、一人で抱え込んでしまう方が多くみられる。情報交換、発散等の居場所の提供を目的として、季節のイベントやお茶会、ランチ会など、気軽に参加していただけた。参加者の滞在時間の延長リクエストや利用頻度も増加傾向にあることから必要な場所であることを認識できた。

⑧ 利根沼田まち・ひと・しごとづくりセンターささえあい事業

前年、木漏れ日の会が事務局を担っていた地域に必要な社会資源を創設するための『ひと・まち運営会議事務局』を『利根沼田まち・ひと・しごとづくりセンターささえあい』としてあらたにNPO手をつなごうの事業の一つとして立ち上げた。その間に準備委員会を設置し、平成31年1月23日に利根沼田地域の行政や社会福祉協議会、商工会議所や民間企業の皆様にご参加頂き、設立会が開催された。事業開始に向け準備を進めている。

⑨ 認知症高齢者と家族への支援と地域作り事業

高齢者の徘徊 SOS ネットワークの検索メール配信について、滞りなく実施でき、検索活動に貢献できた。升形小学校での認知症学習と模擬徘徊訓練について、行政・各支援センター等連携して事業を行い、小学生の理解を深めるとともに地域で認知症高齢者を見守るという意識作りができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
いきいきトレーニングセンター事業	・地域住民に対し健康づくりの場、交流の場としてトレーニングセンター(運動する場)の提供を行っている。	H30.4 ～ H31.3	沼田市 久屋原町	6名	会員数548名
ラウンジ事業	・毎月実施の教室活動を通し、生きがいをづくり、趣味活動の場、人との交流の場、講師やボランティアとして、人から必要とされる場の提供を行う。 ・21活動を実施。(ミュージッククラブ・歌体操クラブ・編み物教室・書道教室・お茶会・民謡会・切り絵教室・短歌教室・手芸教室・ビーズ教室・子ども交流会等)	H30.4 ～ H31.3	沼田市 久屋原町	22名	4,009人 (延人数)
みんなの農業事業	・はたけでの栽培から袋詰め、販売(5月～11月)まで実施。	H30.4 ～ H31.3	沼田市久屋原町	10名	30名
	・さつまいも掘りなど保育園との交流会を実施。	H30.4 ～ H31.3	沼田市久屋原町	10名	30名
	・地域の高校生(利根実業高校)とのはたけ作業などを通した世代間交流を実施。	H30.4 ～ H31.3	沼田市久屋原町	10名	30名
	・放課後等デイサービスへ通所する障がい児へはたけ作業を通した、活動の提供。	H30.4 ～ H31.3	沼田市久屋原町	10名	10名
利根沼田医療福祉勉強会事業	・医療、福祉の従業者を対象に、医療・福祉の幅広い分野での研修会を行った。	H30.7.7	沼田病院	6名	49名
		H30.10.3	内田病院	6名	83名
		H31.3.19	沼田病院	6名	48名
	・利根沼田地域における胃瘻地域連携パスの作成と改善点についての会議や、患者様の予後調査を行った。	H30.5.30	内田病院	3名	14名
		H30.8.29	内田病院	3名	15名
		H30.11.28	内田病院	3名	15名
H31.2.27	内田病院	3名	17名		
木漏れ日の会事業	・障害者や高齢者・子育て支援を目的とし利根沼田のフォーマル・インフォーマルサービスを掲載した『とね、ぬまたお助け便利帖』の発行	H30.4 ～ H31.3	沼田市久屋原町	18名	利根沼田地域
いきいき工房みんなの家事業	・教室活動・サークル活動を継続(活動開催数合計122回)。 ・部屋活用団体数18団体。教室内容は歌声広場・麻雀倶楽部・手話サークル・蕎麦打ちの会・ITサロン等。 ・上毛新聞愛の募金助成金による事業(交流イベント開催)は、4・7・10・11・12月に計5回実施した。	H30.4 ～ H31.3	沼田市久屋原町	6名	延べ利用者数 1,351人

ピア友の会 事業	・障がいを持つ子供の親の交流の場を月1 回程開催している。 ・季節ごとのイベントや、他の親の会との 交流、勉強会、ランチ会なども開催。	H30. 8. 17	沼田市久屋 原町	3名	3名
		H30. 8. 31		3名	3名
		H30. 9. 21		3名	4名
		H30. 11. 16		3名	9名
		H30. 12. 7		3名	2名
		H31. 1. 18		3名	5名
		H31. 2. 1		3名	2名
		H31. 3. 1		3名	3名
利根沼田ま ち・ひと・し ごとづくり センターさ さえあい事 業	・日常生活の困りごとを相談し、登録して いるお助け隊の企業や団体が自宅に出向 いて解決できる『お助け隊のいる利根沼田 わがこと・まるごと相談所』とタクシーを 活用し相乗りで『気軽に外出できる移動支 援』の二つの事業の創設。	H30. 4 ～ H31. 3	沼田市久屋 原町	16名	利根沼田地 域
認知症高齢 者と家族へ の支援と地 域作り事業	高齢者の徘徊SOSのモバイル一斉送信。	H30. 4 ～ H31. 3	事務所	1名	3名
	小学生を対象とする事前認知症学習。 (小学1～6年生の児童対象)	H30. 11. 19	升形小学校	1名	186名
	認知症高齢者模擬徘徊訓練。 (下校時間の喚起で、小学1～6年生の児 童対象)	H30. 11. 19	升形小学校	1名	186名